

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 使徒 26:17-18
- *賛美 …………… 150番 み墓ふかく
- *交読文 …………… 35番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 155番 さかえあれ、死に勝ちて
- 礼拝のための祈り …… 関野久美子 伝道師
- 賛美 …………… 256番 目をあげ天を見よ
- ワースhipダンス …… ゴスペル・ア・ボイス
- メッセージ …………… 「自分の正しいこと」よりも「主のうめき」に耳を傾けよ(使徒 16:6-15)
- 御言葉を適用する祈り… 会衆一同
- 特別賛美 …………… 主を望みましょう 1285
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… 吉留淳子 伝道師
- 報告 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- 御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- 主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- 全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- 受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(ご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

起き上がって自分の足で立ちなさい。わたしが___に現れたのは、___がわたしを見たことや、わたしが___に示そうとしていることについて、___を奉仕者、また証人に任命するためである。 わたしは、___をこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのところに遣わす。それは彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、こうしてわたしを信じる信仰によって、彼らが罪の赦しを得て、聖なるものとされた人々とともに相続にあずかるためである。(使徒 26:16-18)

私たちの人生の中で、「これは良いことだ」「神様のためだ」、と思って進んでいるのに、なぜかうまくいかない、なぜか行く先々でことごとく扉が閉ざされて、進めない、という事はないでしょうか？ そのような時は、振り返りの時です。自分が考案した“良いこと”と、“神様の御心”は、同じとは限らないからです。どんなに正しいことでも、どんなに立派なことでも、主の御旨がそうではないなら、そこに実りはありません。では、そのような時はどうすればよいのでしょうか？今日の箇所から見ていきたいと思います。

使徒の働き 16 章には、少し不思議な出来事が記されています。パウロたちはアジアで福音を伝えようとしていました。それは彼らの利益のためではありません。ただ神様のため、そして、人々を救うため、です。これは誰が見ても「良いこと」ですが、しかし聖書はこう語ります。「御霊は、アジアでみことばを語ることを禁じられた」「御霊は、それを許されなかった」…。 おかしいです。福音を伝える事は、この上もなく良い事であるはずなのに、御霊が、行く先々で福音を語る事や、働きが止められるのです。でもパウロ達は、あきらめませんでした。止められても止められても、それでも進み続けました。私達もそのような場面に出くわした時、御心を求めつつ進んでいくべきです。主の御心が示されるまでは、

パウロ達はいよいよ、トロアスにたどり着きます。既に 800km ほど、実りが無いまま、進み続けて来ました。『その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私達を助けてください」と懇願するのであった。』(使徒 16:9) 彼は「しきりに懇願(パラカレオー)」していましたが、それは、必死のうめきであり、願いであり、叫びです。「どうか、こちらに渡って来て下さい。」「その境界を超えて、私達を助けに来て下さい。」「自分の罪から、訴えて来るサタンから、悲惨に満ちたこの世から、そして、地獄の滅びから、私達を救い出して下さい…。」今も、このような声にならないうめきが、世界に満ちています。

主は、一人一人のうめきをご存知です。どこに福音が必要なか、真っ先に福音を届けるべき魂はどこにいるのか、すべて、主はご存知です。だから主は、パウロたちがアジアに留まるのを止めさせたのです。彼らはこの幻から、マケドニアこそ御心の地だとわかりました。そうしてたどり着いたのが、ピリピです。しかしそこは、霊的には”ひなびた”所でした。会堂はなく、ただ川辺に、小さな祈りの集まりがあるだけで、集まって来たのも、女性たちばかりでした。彼らは、「えっ、ここなの?」「こんな小さな所のために?」と思ったかもしれません。しかし、主は、その中の一人の女性、紫布を商うリディアの心を開いて、彼女とその家族を救われました。一つの小さな「家の教会」が建ったのです。それは小さな一歩だったかもしれませんが。しかし実は、その家は、福音において大いに発展したヨーロッパの記念すべき最初の教会となったのです。その後の歴史をみると、ヨーロッパは福音が大きく広がっていく地となり、無数の魂が救われていきました。たった一人の女性と、ひとつの家。それは小さく見えたかもしれませんが、実は偉大な功績だったのです。

今日、私たちは省みるべきです。私たちが「良いこと」をしているのに進まない、壁にぶつかる、道が閉ざされる…。そのような時こそ、切に主に御心を尋ね求めるべき時です。それを止めなさいと主から言われない限りは、止めてはいけません。むしろ、「主よ、あなたの御心はどこですか?」「誰のもとへ行くべきですか?」「何をすべきですか?」と求め続けるなら、「救われたい!」と、うめいている魂の声を聞かせてください、なすべきことは何か、行くべき所はどこか、会うべき人はどこにいるのかを、示して下さいます。私たちは、「自分にとって良いこと」よりも、「主のうめき」はどこにあるのか、人はどのようにうめいているのか、そちらのほうを優先して探るべきです。どんなに福音を伝えるという「正しい」事であっても、「救われたい」という“うめき”が一切無い所なら、何の実りもありません。また私達がどんなに「正しい」と思えるような事をして、それをされた人が悲しみうめくようであるなら、それは直ちに止めてしまったほうが良いのです。どうか覚えておいてください。主の御心を求めた末に示され、たどり着いた地が、たとえどんなに小さく、また価値がないように見えても、そこが主の御心であるなら、その働きは大きく壮大になって行くのです。私達にとつての「マケドニア」はどこでしょうか。聞くべき「助けてください」といううめきは、誰が発しているのでしょうか。主の導きに敏感であり、従順であり、示された地へと大胆に進んでいく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:30

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～
水曜礼拝
1部 13:00～
2部 19:00～
金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております
youtube.com/c/横浜天声キリスト教会



YouTube

〒231-0058

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

大通公園沿い、伊勢佐木警察署の向かいにあり、
1Fがファミリーマートになっております。



Home Page

第21巻16号 2026年4月19日

横浜天声キリスト教会



担任: 林和也牧師 川合ゆきえ牧師 増田高章牧師